



士別市

## 概要

士別市は、広い行政面積のなかで集落が分散しており、農村部における路線バスの運行効率が低く、バス事業者の赤字が増大しているほか、中心市街地の活性化のためのバスの利便性向上が課題となっている。このため、中心市街地におけるバス路線の見直し、ワンコインバスの導入、農村部におけるデマンドバス、乗合タクシーの導入等の調査検討を実施する。

### 地域公共交通の現況

- ・JR宗谷本線(士別駅、下士別駅、多寄駅)
- ・士別軌道(株)バス(15路線)
- ・予約制乗合バス(1路線)
- ・コミュニティバス(2路線)
- ・スクールバス(1本)

### 地域公共交通の課題

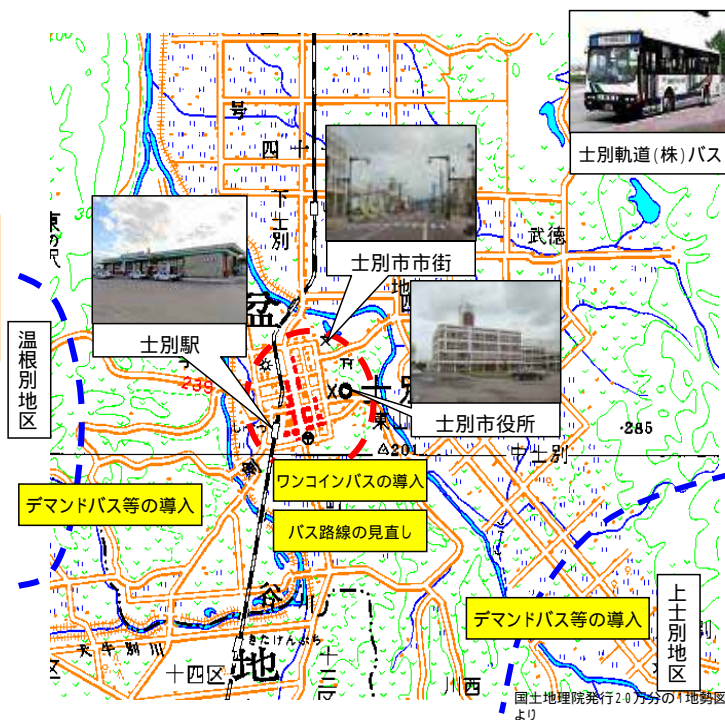
- ・農村部を運行する路線バスの運行効率の向上
- ・中心市街地におけるバスの利便性の向上
- ・バス待合施設の改善

### 調査の主な内容

- ・地域特性の整理(公共施設、年齢構成等)
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・温根別地域におけるデマンドバス等の試験運行

### 策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・中心市街地におけるバス路線の見直し、ワンコインバスの導入検討
- ・農村部におけるデマンドバス、乗合タクシーの導入検討
- ・バス待合施設の整備(シェルターの設置)の検討
- ・バスマップの作成、商店街との連携等による利用促進の検討



## 士別市地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

### 主な調査の実施内容

協議会開催状況

5回開催

分科会等開催状況

-

左記開催状況は H21.1.30現在

地域特性の整理(公共施設、年齢構成等)

・運行事業者との協力により、各路線バスの運行実態、乗車数推移、運行経費等について現況調査を実施。

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査等)

・通学などでバスを利用する機会が多い高校生等を対象にワークショップを開催。  
・士別市のバス交通に関するアンケート(H20.8.15~31日)及びバス待合環境アンケート(H20.9.12月)を実施。

温根別地域におけるデマンドバス等の試験運行

・農村部である温根別北線をモデル地域として、デマンドバス・タクシーの試験運行を実施し、実施期間中の前・後半2回のヒアリング調査を行うとともに、他地域への導入の可能性について検討を行った。(H20.11月の1ヶ月間、前半:バス会社、後半:ハイヤー会社への委託により実施)

### 予定している連携計画の内容

利用者ニーズにあった路線・ダイヤの検討(実施主体:バス・タクシー事業者、実施時期:H21~)

・JRの乗継ぎに配慮したダイヤの導入、乗換えなく通学できる等のニーズを踏まえたルート設定や変更、ダイヤ改正を検討。

温根別北線におけるデマンドバスの運行(実施主体:バス・タクシー事業者・士別市、実施時期:H21~)

・温根別北線において路線バスに代わるデマンドバスの実証運行を実施。

快適なバス待合環境づくり(実施主体:バス事業者・士別市・自治会・周辺商店ほか、実施時期:H21~)

・安全かつ快適な待合環境確保のため、施設整備とあわせて、地域と連携し、待合施設の維持管理を実施。

路線バスの利用促進事業(実施主体:バス事業者、士別市、実施時期:H21~)

・公共・観光施設等も掲載した「路線バスマップ」の作成、車内を活用した情報発信、乗りたくなるラッピング等を検討。

### 自己評価のポイント

アンケート調査、ヒアリング、生徒・保護者とのワークショップ、デマンドバスの試験運行等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において合意形成を図っている。

### 二次評価のポイント

一部の事業についてはさらに検討の具体化を進めるようアドバイスする。